

女性フラガ 男女共同参画支援室だより

Vol. 9

2011.3.31発行

この度の東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。皆様の安全と一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

今年度、開催したセミナーについてご紹介します。

●第3回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成22年11月17日(水)

「賢く生きる！保険とお金の上手な付き合い方」 ～自分の保険を自分で見直す～

「金融や保険の業界は変化のスピードが速く、分かりづらい業界です。自分が契約している保険でさえ、掛け金や年数、特約など把握している方は少ないのではないのでしょうか。」と、講師としてお迎えしたファイナンシャルプランナーの郡司敦子さん。



保険の選び方、保険証券の読み方、見直しのポイントなど、自分にとって最適な商品の選び方を教わりました。「お金があっても健康でなければ入れないのが保険」、「55歳を境に加入できる保険の種類は少なくなり掛け金も高くなる。保険を考える年齢的な目安は55歳までと考えた方がいい」などと、具体的で分かりやすい内容でした。



参加者からの感想



実際に必要な費用を把握でき、自分に必要な資金が分かった事が良かった。
保険のこと、これからの人生のことを考えるきっかけになった。

●第4回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

常総会場 平成22年12月4日(土)、11日(土)

水戸会場 平成23年1月29日(土)、2月5日(土)

「女性のための創業支援セミナー」

常総と水戸のそれぞれの会場で2日間にわたり開催した創業支援セミナーでは、真剣なまなざしの受講生が集まり熱気溢れる学びの時間となりました。1日目はELIXIR色彩研究所 色彩カウンセラーの白土祈歩さんが創業体験を話されました。続いてハンプティ代表 中小企業診断士の宮田貞夫さんが事例から学ぶ創業のポイントをご講演されました。



2日目は特定社会保険労務士の川田志津子さんが創業の動向と心構えについて、税理士の樋田雅美さんが創業・企業に必要な会計知識について、最後は日本政策金融公庫の結城茂章さんと嶋根吉彦さんが創業計画の立て方と創業に係る融資制度についてそれぞれ話されました。創業を目指す方々にセミナーで得た知識を存分に活用していただきたいと思います。



参加者からの感想



とても興味深い話が聞けてよかった。女性の特殊性を活かすアイデアを得ることができた。
大変興味深い内容だった。創業後の営業方法についてももう少し詳しく知りたかった。

●第5回男女共同参画チャレンジ支援セミナー

平成23年2月16日(水)

「資格を活かして自己実現」

～夢をかなえるために！～

キャリアカウンセラーの川村貴子さんを講師にお迎えし、コスチュームジュエリー Delica を主宰の見澤道子さんと、ベジフルコミュニティいばらき代表の田野島万由子の事例発表により、ミニシンポジウムを開きました。

ご自身の夢を具現化されている3人のお話は、希望と勇気を与えてくれました。自分の好きなことや得意なことを仕事とし、相手が満足する成果を提供するために自分を常に磨いている姿勢は、キラキラと輝いていました。資格や技能を活かすために、さらに学び続けることで磨きがかかり、その姿勢が人から信頼されるというプロセスが実感できた貴重な時間となりました。



参加者からの感想

資格は目標ではなくて目的だということが、特に印象に残り参考になった。
今、目指している資格の取得後を、具体的に考えたいと思う。

私のお仕事シリーズ

見澤道子さん

コスチュームジュエリー-Delica主宰



繊細でつややかな輝きを放つガラスビーズや、個性豊かな天然石などのさまざまな素材に魅せられて、いつのまにかアクセサリーを作りはじめていました。ブランド名の“Delica”(デリカ)は、繊細な(delicate)、美味しそうな(delicatessen)という言葉からインスピレーションを受けて名付けました。お洒落の主役や脇役として、身につける方の個性や魅力を引き出すアクセサリーをご提案させていただきます。

見澤さんのジュエリーは、国内では彫刻の森美術館(箱根)など、国外ではチェコ国立美術館などに出展歴があり、3月にはロシアのサンクトペテルブルグのギャラリーに出展されました。

310-0851水戸市千波町1416-22

Tel&Fax 029-303-6029

E-mail:info@beads-delica.com

田野島万由子さん

ベジフルコミュニティいばらき代表



「ベジフルコミュニティいばらき」は、野菜ソムリエ(ジュニア/シニア)が資格を生かした自主的な活動を組織的に実施し、情報交換や相互連携の拠点とするための日本野菜ソムリエ協会公認の団体の一つです。茨城県内の野菜ソムリエが、産地見学会や勉強会、地域イベントなどを企画・運営したり、食関連イベントの講師として活躍しています。

田野島さんは県内唯一であるフリーの野菜ソムリエとして、講師活動(カルチャースクール、公民館、料理教室、セミナー、イベントほか)、ラジオ番組制作、JA直売所デモンストレーター、飲食店向け食材マッチング、企業様イベント企画・運営、レシピ提案など、幅広く活躍されています。

305-0021つくば市古来371-1(ベジフルコミュニティいばらき事務局)

Tel 080-3029-7798

E-meil:ibaraki@vegefru.name

～ 茨城県女性団体連盟主催 ～

人材育成海外研修フィンランド・ツアーに参加して

茨城県女性団体連盟が創立25周年を記念して初めて主催した海外研修に参加し、平成22年10月3日から9日までの7日間、首都・ヘルシンキを中心に、「男女共同参画・教育・福祉・環境」の4つをテーマとして公的機関や公共施設、NGOなど8箇所を訪問して参りました。

フィンランドは日本から最も近いヨーロッパの国です。童話のムーミンやサンタクロースの故郷として、また、オーロラが見られる国としてお馴染みです。国土は日本の九州を除いた大きさで、国土面積の8割が森林、湖沼の数は18万を超え、「森と湖の国」と言われる自然豊かな環境の中に、約530万人が暮らしています。

フィンランドには独特のフィンランド人魂「シス」というものがあると聞きました。北極圏にまたがる厳しい自然環境と隣接国との絶え間ない緊張感から培われた、己に厳しく我慢強い気質を指しているようです。600年にわたるスウェーデンの統治、18世紀から20世紀までロシアの統治を経て、1917年にフィンランドはロシアから独立を果たしました。

独立前の1906年には、ニュージーランドに次いで世界で2番目に女性の参政権を確立しました。現在は、大統領も首相も女性、国会議員も半分近くが女性で占められており、日本とは比較にならないほど、女性の社会参画が浸透しています。

教育の分野でも、15歳を対象にOECD（経済協力開発機構）が3年おきに実施している教育習熟度テスト（PISA）で、毎回トップレベルを誇っており、世界から注目を集めています。今回訪問したクオッパヌツミ総合学校は、プリスクールから中学校まで、普通クラスに学習障害児、重度身体障害児も一緒に学んでいる新しいタイプの学校です。体験的学習を重視したゆとり教育を実践し、テストもないと伺いました。訪問した先々で、「人を育てる。人を第一優先と考える。」という言葉が頻りに耳にしましたが、フィンランドの政策の基本がこの言葉通り、教育にも反映されていることを実感いたしました。

教育の現場を視察した後、国家教育委員会（日本では文部科学省にあたります。）を訪問いたしました。フィンランドの教育について知りたいと思う気持ちは世界共通のようで、世界中からのオファーが年間300件以上あると伺い驚きました。委員会はこれ以上の受け入れに限界を感じ、私たちが最後の訪問客であることを知らされました。



国家教育委員会にて



親子でゲーム遊び

今回訪問した中で、私は、プレイパーク・ハルスプイストが特に印象的でした。公共の地域公園でありながら、午前には幼児と親が、午後からは学校帰りの子どもたちが、友だちと遊んだり、宿題したり、学童クラブとして利用しています。親子の交流会やカルチャーの定期的な開催など、一つの施設が地域の核となって多目的に活用され、地域全体で育児を支援する理想的なスタイルを形成していました。このようなシステムは、自分たちの地域にも必要ではないか。実現は、それほど難しくはないと思いました。

（男女共同参画相談員 奥村恵子）

支援室業務のご案内

☆**チャレンジ相談・支援** 働きたい! 起業したい!

面接は予約制です。(029-233-3982)

☆**特別相談** 法律相談(第2金曜日) 仕事と心の相談(第1金曜日)

グループ相談(第4金曜日)すべて予約制です。(029-233-3982)

☆**総合相談窓口** 専用電話029-233-7837 なやみなし

☆**支援室のご利用** 情報コーナー(パソコン2台) 図書・ビデオ室、交流室、会議室

☆**図書・ビデオ貸出** 新着図書(30冊) ビデオ約130本をホームページにて紹介しています。貸出も行っていますので、ご利用ください。



話題の本も多数取り
そろえてあります。

相談や施設のご利用は無料です。

相談窓口一覧

悩みは話すことで気持ちが切り替わることがあります。心が悲鳴をあげていたら、勇気を出して相談してみましょう。



県内の女性に対する暴力の相談窓口

配偶者からの暴力(DV)

婦人相談所(配偶者暴力相談支援センター) 029-221-4166

古河市配偶者暴力相談支援センター 0280-92-7209

NPO法人ウィメンズネット「らいず」 029-222-5757(水・金)

「ジューンらいずびたち」 0294-36-5260(月)

性犯罪に関する被害

県警察本部性犯罪被害相談「勇気の電話」 029-301-0278及び各警察署

つきまとい、ストーカー行為の被害

県警察本部「女性と家庭の相談室」 029 301-0110及び各警察署

職場におけるセクシュアル・ハラスメント

厚生労働省茨城労働局雇用均等室 029-224-6288

犯罪等による被害の未然防止

警察総合相談センター 029-301-9110

女性が暮らす毎日の生活の中で起こるさまざまな問題

女性の人権ホットライン 0570-070-810

発行・お問合せ先

茨城県知事公室女性青少年課
女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41

電話029(233)3982 FAX029(233)1330

URL <http://www.challenge.pref.ibaraki.jp/>